

タウンマネジメント協議会

三年目に突入！

■ 第二十回目の協議会の概要

第20回協議会が4月5日（木）に開催されました。今回は地域の方々、横浜国大の教員学生、和田町の方々など合わせて約30名の参加がありました。今回の協議会では主に和田町で現在進行中のプロジェクトの現状報告、および終了したイベントの結果報告が行われました。またこの日は11月19日（日）に行われたべっぴんマーケットへ向けての話し合いも行われました。



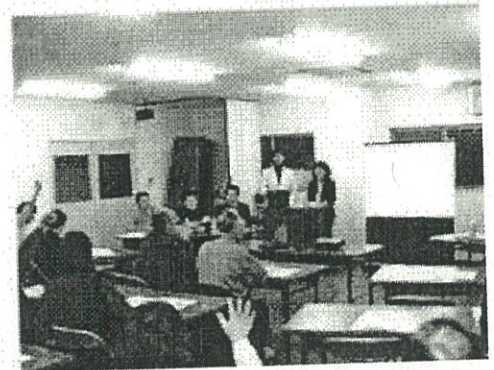
和田橋の欄干緑化の当日は好天に恵まれ、10人ほどが参加して、とても楽しそうな雰囲気プランターへの苗の植え付け作業に取り組みました。

■ COOL わだまち24について

“Cool わだまち24”では、平成17年度から「ヒートアイランド対策モデル実験事業」として横浜市が和田町商店街、和田西部町内会、横浜国立大学と協働で、打ち水や緑化推進などの対策を進めています。その一環で昨年につづいて、和田橋の欄干の緑化が3月17日（土）に行われました。

■ 留学生との交流イベントが開催されました

3月14日（水）に「和田町と留学生の交流会」が、和田西部町内会館で行われました。当日は韓国と中国の留学生も含めて40名近くの参加があり、まず始めに、身近にありながらあまり知られていなかった和田町のことや横浜国大に通うたくさんの留学生達の日常生活などを話し合い、お互いの理解を深めました。



横浜国立大学には約800人の留学生がいます。和田町へは長い和田坂のため、なかなか足を運ばないとのことでした。

その後、これから留学生と和田町をつなぐ架け橋をどうつくっていくかについて、2時間という枠の中だけでは話しきれない白熱した議論が行われました。

交流会では坂のハードルを越えた交流について議論が進みました。

これからも留学生と和田町との新たな交流の場を企画していきますので、今後にご期待ください！

■ その他の和田町ニュース

和田町の歴史を振り返り、将来を考えていきます！

3月20日（火）に「体験！空間情報プラットフォーム」公開研究会が横浜国立大学メディアホールで開催されました。コンピュータで地図を扱える地理情報システム（GIS）を使って、明治時代からの古い地図と航空写真を見ながら、みんなで歴史を振り返って

和田橋緑化日記(その4)

3月から灌水設備が導入され、植物たちには、より快適なプランター環境になりました！これからも和田橋欄干の彼らのこと忘れないでくださいねm(_ _)m

和田町の将来を考えたいと企画されました。和田町から村上弘一さん、丸山諭さん、青木和雄さんが参加され、緑が豊かだった昔の風景や帷子川の氾濫に悩まされたことなどを語っていただきました。